



## 千葉県内初の障害者福祉施設へのリハビリ専門職派遣事業

令和4年度に、社会福祉事業基金（寄付金）を活用し、市のあらき園と「我孫子市リハビリテーション協会」が指導協定を締結します。これにより、月2回、2～3名の理学療法士、作業療法士等が、あらき園で職員の指導や研修、個々の利用者の身体症状に合ったプログラムの見直し等を行います。

初回は、4月4日（月）10時から、職員を対象に「麻痺とは？中途障害と先天性障害の違い」をテーマに、ディスカッションと実習を実施します。

あらき園（指定生活介護事業）は、障害者総合支援法に基づき、昭和63年に設立された18歳以上の通所施設です。どんなに障害が重い方でも、住み慣れた我孫子でいつまでも健康で暮らせるように、生活と社会活動参加の支援を行っています。しかし、近年は利用者の重度、重複化とともに加齢による身体症状の変化や障害の対応が深刻になっています。

我孫子市リハビリテーション協会は、東日本大震災の支援活動で「日頃から顔が見える関係」の重要性を感じ、病院と施設間の連携強化、地域住民への還元を目的に、市内の病院、老人保健施設等8団体で自主的に組織化された専門職団体です。2010年から我孫子市健康フェアに参画し、2017年から認知症予防研修会における介護予防の講義や体操指導に参画しています。また、2020年には我孫子市在宅医療連携推進協議会の多職種協議にも、研修部会、広報部会、情報システム部会に会員を派遣しています。

これまであらき園で実施していた、日大松戸歯学部、我孫子市歯科医師会による「摂食嚥下指導の向上」の指導に続き、我孫子市リハビリテーション協会が障害者福祉領域に関わることで、市全体の障害者福祉や医療が向上します。

今後もさまざまな事業を通して、あらき園が市の中核的な障害者福祉施設として、民間施設、事業所へリハビリテーション技術、知識を供与していきます。

### 【問い合わせ】

我孫子市健康福祉部障害福祉支援課

あらき園

担当 今田・樋口

☎ 04-7185-2459